

第Ⅱ章 調査結果の概要

第 章 調査結果の概要

1 . 日常生活の充実感

7 割以上の人が充実感を感じている
男性よりも女性のほうが充実感を感じている
若い年代ほどあまり充実感を感じていない

- ・「非常に充実感を感じている」が 8.3%、「ある程度充実感を感じている」が 64.4%で、充実感を感じている人が 7 割以上を占めている。
- ・「あまり充実感を感じていない」が 22.1%、「全く充実感を感じていない」が 3.6%で、充実感を感じていない人が約 4 分の 1 を占めている。
- ・性 別；「非常に充実感を感じている」と「ある程度充実感を感じている」をあわせると、女性で充実感を感じている人のほうが、男性よりも若干上回っている。
- ・年 齢； 20 歳代では「あまり充実感を感じていない」が約 3 割を占め、若い年代ほど充実感を感じていない。

2 . 学習活動の現状

取り組んでいる分野

6 割以上の人が学習活動に取り組んでいる
「趣味」、「健康・スポーツ」、「仕事」に関する学習活動を行う人が多い
40 歳代、70 歳以上では、あまり学習を行っていない人が多い
学生では「趣味」、「仕事」に関する学習活動、事務的な仕事をしている人では「IT」に関する学習活動を行う人が多い

- ・「特にしなかった」が 31.5%で、無回答を除いた残りの 65.6%の人は何らかの学習活動に取り組んでいる。
- ・「趣味的なもの」が 29.5%で最も多く、次いで「健康・スポーツに関すること」が 28.3%、「仕事に必要な知識・技術」が 20.6%という順になっている。
- ・性 別；男性では「仕事に必要な知識・技術」の割合が最も高く、女性では「趣味的なもの」の割合が最も高い。「ITに関すること」については、男性に占める割合が女性のそれよりも高い。
- ・年 齢；20 歳代、30 歳代では「仕事に必要な知識・技術」の割合が高く、50 歳代以上では「趣味的なもの」の割合が高い。40 歳代、70 歳以上では「特にしなかった」がそれぞれ 3 割以上を占め、比較的割合が高い。
- ・職 業；学生では「趣味的なもの」の割合が最も高く、「仕事に必要な知識・技術」の割合も他の職業に比べて高い。事務的な仕事では、「ITに関すること」の割合が他の職業に比べて高い。

学習の目的

「生きがい」、「教養・能力の向上」、「健康の維持・増進」を目的に学習活動を行う人が多い
「生きがい」、「教養・能力の向上」に次いで、40歳代以下では「仕事・就職・転職に必要なため」、50歳代以上では「健康の維持・増進」を目的として学習活動を行う人が多い
就業者や学生で「仕事・就職・転職」のために学習活動を行う人が多い

- ・全体的に「自分の楽しみや生きがいのため」、「自分の教養や能力を高めるため」、「自分の健康を維持・増進するため」の割合が高い。
- ・分野；『趣味的なもの』、『健康・スポーツに関すること』では「友だちや仲間をつくるため」がともに3割以上を占めている。『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では、「地域や社会のことをよく知るため」、「地域や社会に役立つ活動をするため」の割合が特に高い。
- ・性別；男性では「高度な専門知識や技能を身につけるため」の割合が高く、女性では「自分の健康を維持・増進するため」の割合が高い。
- ・年齢；「自分の楽しみや生きがいのため」、「自分の教養や能力を高めるため」以外では、40歳代以下で「仕事・就職・転職に必要なため」の割合が高く、50歳代以上で「自分の健康を維持・増進するため」の割合が高い。「友だちや仲間をつくるため」については、年齢の高い人ほど割合が高い。
- ・職業；商工サービス業・自営業、事務的な仕事、現業的な仕事、学生では、「仕事・就職・転職に必要なため」の割合が、家事専業、その他・無職では「自分の健康を維持・増進するため」の割合が比較的高い。

学習活動の情報の入手方法

「家族・友人」、「新聞・雑誌」、「行政の広報紙等」から情報を入手する人が多い
30～50歳代では「勤務先など」から、60歳代以上では「行政の広報誌等」からも情報を入手している
大津・志賀、湖南以外の地域では、「行政の広報紙等」から情報を入手している人が多い

- ・全体的に「家族や友人、知人から」、「新聞・雑誌から」、「県や市町村の広報紙やパンフレットから」の割合が高い。
- ・分野；『仕事に必要な知識・技術』では「勤務先など仕事を通じて」の割合が、『社会的課題に関すること』では「講座や学級、研修会、その他催し物に参加して」の割合が、『ITに関すること』では「インターネットや携帯電話から」の割合が最も高い。『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「自治会・町内会の回覧や連絡から」の割合が3割以上を占めている。『教養的なもの』では「テレビ・ラジオ・有線放送から」、『子育て・教育に関すること』では「学校から」の割合が比較的高い。
- ・年齢；30歳代から50歳代では「勤務先など仕事を通じて」の割合が、60歳代以上では「県や市町村の広報紙やパンフレットから」の割合が比較的高い。

- ・地 域；大津・志賀、湖南以外の地域では、「県や市町村の広報紙やパンフレットから」がそれぞれ2割以上を占めている。また、甲賀地域、東近江地域では、「勤務先など仕事を通じて」もともに2割以上を占めている。

学習活動をするための利用施設

「公民館」、「地域施設」、「個人の家」を利用して学習活動を行う人が多い
大津・志賀地域では、「個人の家」の割合が高い

- ・全体的に「公民館」、「地域の施設」、「個人の家」の割合が高い。
- ・分 野；『教養的なもの』では「図書館」、「美術館、博物館、資料館」の割合が高い。『子育て・教育に関すること』では「学校、大学の施設」の割合が、『仕事に必要な知識・技術』では「企業などの研修施設」の割合が高い。「公立文化会館」については、『趣味的なもの』、『教養的なもの』、『社会的な課題に関すること』、『ボランティア活動等に関すること』の割合が高い。
- ・地 域；大津・志賀地域では「個人の家」が2割以上を占め、他の地域に比べて割合が高い。甲賀地域、湖北地域では、「公立文化会館」の割合が高い。

学習活動の方法

「新聞・雑誌等」、「サークル活動」、「地域活動等」により学習活動を行う人が多い
30歳代以下では「インターネット等」により、60歳代以上では「地域活動等」により学習活動を行う人が多い

- ・全体的に「新聞、雑誌、本などで」、「同好の友人によるサークル活動を通して」、「地域や自治会の活動や催し物で」の割合が高い。
- ・分 野；「新聞、雑誌、本などで」については『教養的なもの』で37.4%を占め、他の分野に比べて割合が高い。『趣味的なもの』、『健康・スポーツに関するもの』では「同好の友人によるサークル活動を通して」の割合が、『子育て・教育に関するもの』では「公共機関が主催する講座や学級などで」の割合が、『仕事に必要な知識・技術』では「職場内の学習会、研修会などで」の割合が、『ITに関すること』では「インターネットなどを利用して」の割合がそれぞれの分野で最も高い。『趣味的なもの』では「先生に師事して」の割合が、『健康・スポーツに関すること』では「民間のカルチャーセンターなどで」、「仕事に必要な知識・技術」については「企業が主催する講座などで」、「ボランティア活動等に関する知識・技術」については、「NPO活動やボランティア活動を通して」の割合がそれぞれ他の分野に比べて高い。
- ・年 齢；30歳代以下では「インターネットなどを利用して」の割合が比較的高く、60歳代以上では「地域や自治会の活動や催し物で」の割合が比較的高い。
- ・地 域；甲賀地域については、「公共機関が主催する講座などで」が2割以上を占め、他の地域に比べて若干割合が高い。

学習活動で得たものの活用方法

「人生の充実」、「健康の維持・増進」、「日常生活」に活かしている人が多い
30歳代以下では「仕事や就職・転職等で活かす」人が多く、50歳以上では「健康の維持・増進に役立っている」人が多い
就業者及び学生では、「高度な専門知識・技術の習得に努める」人が多い

- ・全体的に「自分の人生の充実にむけて活かしている」、「自分の健康の維持・増進に役立っている」、「家庭生活や日常生活に活かしている」の割合が高い。
- ・分野；「自分の人生の充実にむけて活かしている」については、『趣味的なもの』、『教養的なもの』で特に割合が高い。『仕事に必要な知識・技術』では「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと勤めている」の割合が、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「ボランティア活動やNPO活動など社会のために活かしている」の割合がそれぞれ5割以上を占めている。「仕事や就職・転職の上で活かしている」については、『仕事に必要な知識・技術』、『ITに関するすること』で特に割合が高い。
- ・性別；男性では「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」などの割合が女性よりも高く、一方女性では「家庭生活や日常生活に活かしている」などの割合が男性よりも高い。
- ・年齢；20歳代では「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」が3割以上を占めている。30歳代以下では「仕事や就職・転職の上で活かしている」の割合が、50歳代以上では「自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が高い。
- ・職業；学生では、「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと努めている」の割合が最も高い。商工サービス業・自営業、事務的な仕事、現業的な仕事、学生では「仕事や就職・転職の上で活かしている」の割合が、家事専業、その他・無職では「自分の健康の維持・増進に役立っている」の割合が高い。

学習活動のための費用

「趣味」、「教養」に関する学習活動には、他の分野よりも若干多く費用をかけている
20歳代及び学生では「5,000円以上10,000円未満」が2割以上を占めている

- ・全体では「1,000円未満」、「1,000円以上3,000円未満」、「3,000円以上5,000円未満」の順に割合が高い。
- ・分野；『子育て・教育に関すること』、『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「1,000円未満」がそれぞれ4割以上を占め、特に割合が高い。『趣味的なもの』、『教養的なもの』では「1,000円以上3,000円未満」の割合が最も高い。
- ・年齢；20歳代では、「5,000円以上10,000円未満」が2割以上を占め、他の年代に比べて割合が高い。

- ・職業；学生では「5,000円以上10,000円未満」が2割以上を占め、他の職業に比べて割合が高い。

学習活動での満足度

8割以上の方が、自分の行った学習活動に満足している
 「趣味」に関する学習活動を行った人の満足度は比較的高い
 男性よりも女性の満足度のほうが若干高い
 30歳代以下では、「非常に満足」という人が他の年代に比べて多い

- ・全体では「やや満足」が5割以上で最も多く、「非常に満足」とあわせると8割以上の方が満足している。
- ・分野；『趣味的なもの』については「非常に満足」が38.6%を占め、各分野の中で割合が最も高い。
- ・性別；「非常に満足」と「やや満足」をあわせた割合は、女性のほうが男性よりも若干上回っている。
- ・年齢；30歳代以下では「非常に満足」が3割以上を占め、他の年代に比べて割合が高い。

学習活動での不満な理由

「時期・時間」、「学習内容」、「指導者」に対する不満が多い
 「教養」に関する学習活動では、「時期・時間」や「費用」に対する不満が多い
 甲賀、湖北地域では、「場所」に対する不満が多い

- ・全体的に「時期・時間について」、「学習内容や水準について」、「講師や指導者について」の割合が高い。
- ・分野；「時期・時間について」の割合が、『教養的なもの』、『社会的課題に関すること』とともに5割以上を占めている。『子育て・教育に関すること』では「成果の発表や活用・評価について」、「一緒に活動する仲間やグループ、サークルについて」の割合が、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「講師や指導者について」の割合が高い。「費用について」の割合は『教養的なもの』で38.7%を占め、他の分野に比べて高い。
- ・地域；大津・志賀、甲賀、東近江、湖西地域では「学習内容や水準について」の割合が高く、甲賀、湖北地域では「場所（会場までの距離・交通手段）」について」の割合が高い。

学習活動をしなかった理由

時間的な余裕がないために学習を行わない人が5割以上を占める
生涯学習に対する意欲や関心は、女性よりも男性のほうが低い

- ・「仕事や家事が忙しくて時間的な余裕がない」が最も多く、次いで「きっかけがつかめない」が29.6%、「開設の時期や時刻が、自分の都合に合わない」が23.2%という順になっている。
- ・性別；「そういうことは好きでない」、「特に必要がない」の割合は女性よりも男性のほうが高い。
- ・年齢；「仕事や家事が忙しくて時間的な余裕がない」の割合が、30歳代、40歳代ではともに7割以上を占め、特に割合が高い。20歳代では、「どこでどんな講座や教室をやっているのかわかりにくい」、「一緒に活動する仲間がいない」の割合が、他の年代に比べて高い。70歳以上では「健康や体力に自身がない」が5割弱を占めている。
- ・職業；「仕事や家事が忙しくて時間的な余裕がない」の割合が、商工サービス業・自営業、事務的な仕事、現業的な仕事、学生でそれぞれ7割以上を占め、特に割合が高い。商工サービス業・自営業、事務的な仕事、現業的な仕事では、「開設の時期や時刻が、自分の都合に合わない」の割合も比較的高い。
- ・地域；大津・志賀、東近江、湖北地域では、「自分の希望に合った講座や教室がない」がそれぞれ1割以上を占め、比較的割合が高い。甲賀地域では、「そういうことが好きではない・めんどろ」、「特に必要がない」の割合が、他の地域に比べて高い。

3. 今後の学習活動の意向

取り組みたい分野

8割以上の人々が、今後学習活動に取り組みたいという意向を持っている
「趣味」、「健康・スポーツ」、「IT」に関する学習活動に対する意向が多い
男性では、「IT」、「教養」に関する学習活動に対する意向が多い

- ・「特にしたくない」が11.0%で、無回答を除いた残りの85.2%の人は何らかの学習活動に取り組みたいという意向を持っている。
- ・「趣味的なもの」が48.6%で最も多く、次いで「健康・スポーツに関すること」が45.2%、「ITに関すること」が27.1%という順になっている。
- ・性別；男性では「ITに関すること」、「教養的なもの」などの割合が女性よりも高く、女性では「趣味的なもの」、「家庭生活に必要な知識・技術」などの割合が男性よりも高い。

- ・年 齢；40 歳代以下では「健康・スポーツに関すること」の割合が最も高く、50 歳代以上では「趣味的なもの」の割合が最も高い。「仕事に必要な知識・技術」については20 歳代、30 歳代で比較的割合が高く、40 歳代から60 歳代では「ITに関すること」の割合が比較的高い。「ボランティア活動等に関する知識・技術」については、50 歳代、60 歳代での割合が他の年代に比べて高い。
- ・職 業；学生では「健康・スポーツに関すること」が約7割を占め、他の年代に比べて高い。商工サービス業・自営業、事務的な仕事、現業的な仕事では「ITに関すること」がそれぞれ3割以上を占め、比較的割合が高い。

取り組みたい活動の情報の入手方法

「行政の広報紙等」、「新聞・雑誌」、「公民館等の広報紙等」から情報を入手したい人が多い
50 歳代以下では、「インターネット・携帯電話」から、50 歳以上では「自治会・町内会の回覧や連絡」から情報を入手したい人が多い

- ・全体的に「県や市町村の広報紙やパンフレットから」、「新聞・雑誌から」、「公民館、図書館などの広報紙やパンフレットから」の割合が高い。
- ・分 野；『趣味的なもの』、『家庭生活に必要な知識・技術』では「テレビ・ラジオ・有線放送から」の割合が、『健康・スポーツに関すること』では「自治会・町内会の回覧や連絡から」の割合が、『社会的課題に関すること』では「講座や学級、研修会、その他催し物に参加して」の割合がそれぞれ比較的高い。『仕事に必要な知識・技術』では「勤務先など仕事を通じて」の割合が最も高く、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「NPOや団体の広報紙やパンフレットから」の割合が3割以上を占めている。『仕事に必要な知識・技術』、『ITに関すること』では、「インターネットや携帯電話」がそれぞれ3割以上を占め、他の分野と比べて割合が高い。
- ・年 齢；50 歳代以下では「新聞・雑誌から」、「インターネットや携帯電話から」の割合が高く、50 歳代以上では「公民館、図書館などの広報紙やパンフレットから」、「自治会・町内会の回覧や連絡から」の割合が高い。
- ・地 域；大津・志賀地域については、「インターネットや携帯電話から」が24.1%を占め、他の地域に比べて割合が若干高い。

取り組みたい活動で知りたい情報

「講座等の開催情報」、「施設の情報」、「指導者等の人材情報」に対する要望が高い
20 歳代では「資格免許の種類・取得方法」に対する要望が他の年代に比べて高い。

- ・全体的に「学級、講座、研修会、行事、催し物の開催情報」、「公民館や図書館、博物館などの施設の情報」、「講師・講演者や指導者・リーダー、サポーターなどの人材情報」の割合が高い。

- ・分野；『仕事に必要な知識・技術』では「資格免許の種類・取得方法」の割合が、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「ボランティアや団体、NPOなどの情報」の割合がそれぞれ最も高く、5割以上を占めている。『教養的なもの』では「地域の文化や伝統に関する情報」が4割を占め、『家庭生活に必要な知識・技術』、『仕事に必要な知識・技術』、『ITに関すること』では「学習活動に役立つ資料や教材、機材の情報」の割合が他の分野に比べて高い。
- ・性別；男性では「学習活動に役立つ資料や教材、機材の情報」などの割合が女性よりも高く、女性では「講師・講演者や指導者・リーダー・サポーターなどの人材情報」などの割合が男性よりも高い。
- ・年齢；20歳代で「資格免許の種類・取得方法」が3割以上を占め、他の年代に比べて割合が高い。

取り組みたい活動で利用したい施設

「公民館」,「地域施設」,「民間カルチャーセンター」の利用意向が高い
 東近江、湖西地域では「図書館」、甲賀、湖北地域では「スポーツ施設・公園」の利用意向が他の地域に比べて高い

- ・全体的に「公民館」,「地域の施設」,「民間のカルチャーセンターや教室」の割合が高い。
- ・分野；『教養的なもの』では「図書館」,「美術館、博物館、資料館」,「公立文化会館」の割合が高い。『社会的課題に関すること』,『ボランティア等に関する知識・技術』では、「青少年施設や女性関連施設、高齢者福祉施設など」の割合がともに3割以上を占め、他の分野に比べて高い。
- ・地域；東近江、湖西地域では「図書館」、甲賀、湖北地域では「スポーツ施設、公園」がそれぞれ2割以上を占め、他の地域に比べて割合が高い。「民間のカルチャーセンターや教室」については、大津・志賀、湖南、東近江、湖東地域でそれぞれ2割以上を占めている。

取り組みたい活動の方法

「公共機関主催の講座等」,「サークル活動」,「地域活動等」による学習活動の希望が多い
 40歳代以下で「民間カルチャーセンター」での学習活動の希望が多い

- ・全体的に「公共機関が主催する講座や学級などで」,「同好の友人・知人によるサークル活動を通して」,「地域や自治会の活動や催し物で」の割合が高い。
- ・分野；『健康・スポーツに関するもの』では「民間のカルチャーセンター、スポーツクラブなどで」の割合が、『仕事に必要な知識・技術』では「企業が主催する講座などで」の割合が、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「NPO活動やボランティア活動を通して」の割合がそれぞれ最も高い。「大学や高等学校などの開放講座、自主講座、聴講生で」については、『教養的なもの』,『社会的課題に関すること』でそれぞれ2割以上を占め、他の分野に比べて割合が高い。

- ・年 齢；40 歳代以下では「民間のカルチャーセンター、スポーツクラブなどで」の割合が高く、60 歳代以上では「地域や自治会の活動や催し物で」の割合が最も高い。
- ・地 域；湖北地域では、「同好の友人によるサークル活動を通して」の割合が最も高い。湖南、甲賀、湖北地域では、「地域や自治会の活動や催し物で」の割合が他の地域に比べて若干高い。

取り組みたい活動の活用方法

「人生の充実」₁、「日常生活」₁、「健康の維持・増進」に活かしたいという意向が多い
 20 歳代では、「仕事・就職・転職」に活かしたいという意向が多い
 学生では「専門的な知識の習得」₁、「仕事・就職・転職」に活かしたいという意向が多い

- ・全体的に「自分の人生の充実にむけて活かしている」₁、「日常生活に活かしたい」₁、「自分の健康の維持・増進に役立てたい」の割合が高くなっている。
- ・分 野；「自分の人生の充実にむけて活かしている」については、『趣味的なもの』、『教養的なもの』で特に割合が高い。『仕事に必要な知識・技術』では「さらに高度な専門的知識・技能を身につけようと勤めている」₁、「仕事や就職・転職の上で活かしたい」の割合が高く、『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「ボランティア活動やNPO活動など社会のために活かしたい」の割合がそれぞれ他の分野に比べて高い。
- ・性 別；「日常生活に活かしたい」については、男性よりも女性の割合のほうが若干高い。
- ・年 齢；「仕事や就職・転職の上で活かしたい」については、20 歳代で3割以上を占め、他の年代に比べて割合が高い。
- ・職 業；学生では「さらに高度な専門的知識・技能を身につけることに活かしたい」₁、「仕事や就職・転職の上で活かしたい」₁がともに3割以上を占め、他の職業に比べて割合が高い。

取り組みたい活動にかけられる費用

「子育て」に関する学習活動については、あまり費用をかけたくないという意向が多い
 20 歳代では、学習活動にかけられる費用が他の年代よりも若干多い

- ・全体では「1,000 円以上 3,000 円未満」₁、「3,000 円以上 5,000 円未満」の順に割合が高い。
- ・分 野；『子育て・教育に関するもの』では「1,000 円未満」の割合が最も高く、3割以上を占めている。『仕事に必要な知識・技術』、『ITに関すること』では、「3,000 円以上 5,000 円未満」の割合が最も高い。
- ・年 齢；20 歳代、40 歳代では「3,000 円以上 5,000 円未満」がそれぞれ3割以上を占め、最も割合が高い。20 歳代では「5,000 円以上 10,000 円未満」が2割以上を占め、他の年代に比べて割合が高い。
- ・職 業；商工サービス業・自営業、事務的な仕事、学生では、「3,000 円以上 5,000 円未満」の割合が最も高い。

- ・地 域；大津・志賀、甲賀、湖北、湖西地域では、「3,000 円以上 5,000 円未満」の割合が最も高い。

4 . 生涯学習体制の整備

IT を活用した学習活動に必要な支援

「IT 講習会の機会の充実」に対する要望が高い
 40～50 歳代で「IT 講習会の機会の充実」に対する要望が特に高い
 20 歳代では「メールマガジンによる情報の提供」に対する要望が高い

- ・「IT を使いこなせるよう、IT 講習会の機会を増やす」が 61.1%で最も多く、次いで「インターネット等を通じて、様々な講座・教室が受講できるようにする」が 42.4%、「インターネット等を通じた講座や教室の情報提供を充実する」が 39.1%という順になっている。
- ・年 齢；「IT を使いこなせるよう、IT 講習会の機会を増やす」の割合が 40 歳代、50 歳代とともに約 7 割を占め、特に割合が高い。20 歳代では「メールマガジンを送信して、学習活動に必要な情報を個人や団体に提供する」の割合が、他の年代に比べて特に高い。「インターネット等を通じて、様々な講座・教室が受講できるようにする」については、20 歳代、40 歳代で 5 割以上を占めている。

学習活動を進めるにあたっての課題

「環境問題」、「健康」、「高齢者の生きがい活動」に関する学習課題が大切だと考える人が多い
 20 歳代では「犯罪対策・消費者問題」に関することが大切だと考える人が多い
 40 歳代以下では「子育て支援・家庭教育の向上」、50 歳代以上では「高齢者の生きがい活動」に関する学習課題が大切だと考える人が多い

- ・「環境問題に関すること」が 60.8%で最も多く、次いで「健康の維持・増進に関すること」が 56.3%、「高齢者の生きがい活動に関すること」が 55.2%という順になっている。
- ・性 別；「IT や高度情報化に関すること」などについては男性の割合が高く、「子育て支援や家庭教育の向上に関すること」などについては女性の割合が高い。
- ・年 齢；20 歳代では「犯罪対策や安全・安心のまちづくり、消費者問題に関すること」の割合が最も高い。40 歳代以下では「子育て支援や家庭教育の向上に関すること」、50 歳代以上では「高齢者の生きがい活動に関すること」の割合が高く、それぞれ 5 割以上を占めている。

学習活動で身につけた知識・技能の評価

「評価する必要がない」という人が全体的に多い

- ・全体的に「評価する必要はない」、「指導者として人材登録する」、「修了証・認定証などを渡す」の割合が高い。
- ・分野；『教養的なもの』、『健康・スポーツに関するもの』、『子育て・教育に関するもの』、『家庭生活に必要な知識・技術』では、「評価する必要はない」の割合が最も高い。『趣味的なもの』では「成果を発表する機会を設ける」の割合が、『仕事に必要な知識・技能』では「就職や昇給にあたって評価する」の割合が、『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では「指導者として人材登録する」の割合が、『ITに関すること』では「修了証・認定証などを渡す」の割合がそれぞれ最も高い。

学習活動に対して期待する機関等

「行政」、「公立の学習施設」、「個人」、「民間事業者」に対する期待が全体的に大きい

- ・全体的に「行政」、「公立の学習施設」、「個人」、「民間事業者」の割合が高い。
- ・分野；『子育て・教育に関すること』、『仕事に必要な知識・技術』、『社会的課題に関すること』、『ボランティア活動等に関する知識・技術』では、「行政」の割合が最も高い。『趣味的なもの』では「個人」、『教養的なもの』では「公立の学習施設」、「健康・スポーツに関すること」の割合が、『家庭生活に必要な知識・技術』、『ITに関すること』では「民間事業者」の割合がそれぞれ最も高い。

学習活動で行政に期待するもの

「入門的な講座」、「公立の学習施設」に対する要望が高い

20歳代では「仕事に活かせる講座の増加」、「民間施設の充実」に対する要望が高い

30歳代では「子育て中の親や障害者も参加できるような支援」に対する要望が高い

40歳代では「様々な施設や機関が連携したネットワークの構築」に対する要望が高い

- ・「誰でも気軽に参加できる入門的な内容の講座や教室を増やす」が40.2%で最も多く、次いで「今ある公立の学習施設の利用時間・方法が改善され、使いやすくなるようにする」が29.5%、「公立の学習施設が増えるようにする」が25.5%という順になっている。
- ・年齢；20歳代では「仕事や就職・転職に活かせるような講座や教室を増やす」、「カルチャーセンターやスポーツクラブなど民間の施設が充実するようにする」の割合が、他の年代に比べて高い。30歳代では「子育て中の親や障害者も学習活動に参加できるように支援する」の割合が、40歳代では「行政や団体、民間などの様々な施設や機関が連携できるようネットワークをつくる」の割合が、70歳以上では「学習活動が盛んになるよう人々の意識や考え方を啓発する」の割合がそれぞれ他の年代に比べて高い。

- ・地 域；「誰でも気軽に参加できる入門的な内容の講座や教室を増やす」については、湖東、湖北地域で、特に他の地域よりも割合が高い。甲賀地域では「公立の学習施設が増えるようにする」の割合が最も高い。

学習活動で公立の学習施設、民間事業者に期待するもの

「料金」、「場所」、「利用時間帯」に対する要望が高い
年齢が高い人ほど利用しやすい「場所」に対する要望が高い

- ・「利用料金が安い」が 57.6%で最も多く、次いで「利用しやすいように、身近な地域にあるか、交通の便のよりにある」が 44.3%、「夜間や早朝、休日にも利用できる」が 31.5%という順になっている。
- ・年 齢；年齢が高い人ほど「利用しやすいように、身近な地域にあるか、交通の便のよりにある」の割合が高い。「利用料金が安い」、「夜間や早朝、休日にも利用できる」については 50 歳代以下で割合が高い。

学習活動で学校・大学に期待するもの

「公開講座の開催」、「指導者の派遣」、「運動施設の地域開放」に対する要望が高い
20～30 歳代では「学校図書館の地域開放」に対する要望が高い

- ・「学校や大学などで開放講座や公開講座を増やす」が 39.7%で最も多く、次いで「学校や大学が、様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」が 35.0%、「学校の運動場、体育館などを地域住民にもっと開放する」が 30.8%という順になっている。
- ・年 齢；20 歳代、30 歳代では「学校の図書館、図書室を地域住民にもっと開放する」の割合が比較的高い。40 歳以上では「学校や大学が、様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」の割合が比較的高い。
- ・地 域；湖東地域では「学校や大学などで開放講座や公開講座を増やす」の割合が、湖北地域では「学校や大学が、様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」の割合が、湖西地域では「大学などの公開講座や社会人を対象にしたコースなどをインターネットで紹介する」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高い。

学習活動でNPO・団体に期待するもの

「学習機会の提供」、「活動への参加のしやすさ」、「活動内容の広報」に対する要望が高い
30 歳代では「子育て中の親や障害者、高齢者等の身近な場所での学習支援」に対する要望が高い

- ・「一般の人々を対象にした学習の機会を積極的に提供する」が 43.1%で最も多く、次いで「NPOや団体の活動に新しい会員やメンバーが加わりやすいようにする」が 31.7%、「NPOや団体の活動自体をホームページやチラシで広報する」が 27.3%という順になっている。

- ・年 齢；30 歳代では、「子育て中の親や障害者、高齢者などの在宅や身近な地域における学習活動を支援する」の割合が他の年代に比べて高い。40 歳代から 60 歳代では、「一般の人々を対象にした学習の機会を積極的に提供する」の割合が比較的高い。
- ・地 域；「一般の人々を対象にした学習の機会を積極的に提供する」については、大津・志賀、湖北地域で割合が比較的高い。甲賀地域では「NPO や団体の活動に新しい会員やメンバーが加わりやすいようにする」の割合が、湖西地域では「大学や学校と連携して、総合的な学習の時間や学校開放・公開講座などを支援する」の割合がそれぞれ他の地域に比べて高い。

学習活動で企業や事業所に期待するもの

「施設の地域開放」、「一般対象の講座の開催」、「指導者の派遣」に対する要望が高い
 50 歳代では「施設の地域開放」、60 歳代では「一般対象の講座の開催」に対する要望が特に高い
 大津・志賀、湖南、東近江地域では「施設の地域開放」に対する要望が高い

- ・「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」が 47.3% で最も多く、次いで「一般の人々を対象にした教室や講座などの学習機会を提供する」が 45.7%、「様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」が 31.0% という順になっている。
- ・性 別；男性では「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」などの割合が女性よりも高く、女性では「一般の人々を対象にした教室や講座などの学習機会を提供する」などの割合が男性よりも高い。
- ・年 齢；50 歳代では「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」の割合が、60 歳代では「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」、「一般の人々を対象にした教室や講座などの学習機会を提供する」の割合がそれぞれ 5 割以上を占めている。20 歳代から 40 歳代では「職員の学習活動を促進するため、勤務時間の短縮や有給休暇制度の整備を行う」の割合が、40 歳代から 60 歳代では「様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」の割合が比較的高い。
- ・職 業；「一般の人々を対象にした教室や講座などの学習機会を提供する」については、農林水産業、家事専業で比較的高い。「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」については学生で、「職員の学習活動を促進するため、勤務時間の短縮や有給休暇制度の整備を行う」については事務的な仕事でそれぞれ他の職業に比べて割合が高い。
- ・地 域；「施設や設備などをもっと地域住民に開放する」については、大津・志賀、湖南、東近江地域で比較的高い。「様々な教室や講座で講師や指導者となる人材を派遣する」については、甲賀地域での割合が他の地域に比べて高い。